

通常の学級（通級による指導の併用）

平成〇〇年度 個別の教育支援計画
〔指導計画〕

平成〇〇年 4月25日記入

ふりがな 氏名	〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇 〇〇	性別	〇	学級	2年1組	記入者名 (所属)	〇〇 〇〇 (担任)	
診断名等	診断名：注意欠陥多動性障害 平成〇〇年〇〇月〇〇日診断 医療機関名：〇〇病院				服薬	<input checked="" type="radio"/> 有 無 〇〇〇〇〇〇		
検査結果等	検査名	WISC-IV						
	検査結果	全検査IQ〇〇 言語理解指標〇〇、知覚推理指標〇〇、ワーキングメモリー指標〇〇、 処理速度指標〇〇						
	実施期日	平成〇〇年〇〇月〇〇日						
	実施機関	〇〇市教育センター						
障害者 手帳	身体	有 <input checked="" type="radio"/> 無	級		(平成 年 月 日 交付)			
		障害程度						
	療育 精神	有 <input checked="" type="radio"/> 無	A1	A2	B1	B2	(平成 年 月 日 交付・再交付)	
		有 <input checked="" type="radio"/> 無	級		(平成 年 月 日 交付)			
家庭状況	<ul style="list-style-type: none"> 父、母、本人、妹（3歳）の4人家族。 両親が共働きのため、放課後は学童保育を利用している。 休日は自転車で近所を走るなど、一人で遊んでいることが多い。 							
本人及び 保護者の 願い	[本人] ・学習漫画の伝記シリーズが好きなので、その話を聞いてほしい。 [保護者] ・親や友達に対して乱暴な言葉遣いが多いので、穏やかに話せるようになってほしい。							
健康上の 配慮	・特になし							
生活 の様 子	うまくいっている状況			つまづいている状況と必要な支援				
	学 習	<ul style="list-style-type: none"> 図工で絵を描くことが得意である。 文字を書くことや、足し算、引き算の計算ができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 作文や日記で、同じ文を何度も書くことが多いので、「いつ」「だれが」「何をした」などを記入できるワークシートを使う。 			
	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝、大きな声で挨拶をし、元気に登校することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 忘れものが多いので、自宅で持ち物を準備したら、連絡帳の持ち物の下に好きなシールを貼り、確認できるようにする。（保護者の確認も依頼） 			
対人関係	<ul style="list-style-type: none"> 1年生に優しく接することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いが伝わらないと、友達を叩くことがあるので、「遊びたかったんだよね」など、本児の思いを代弁し、子ども同士をつなぐ。 				

(1 学期)

1年間の目標	・教師や友達に穏やかに話すことができる。
評価	

1 学級担任

指導目標	指導の手立て	評価
・担任に視線を向け、穏やかに話すことができる。	・本児の思いを受け止め、代弁しながらかかわる。 ・算数の授業では本児ができそうな問題を必ず1回は指名し、学習への意欲を高める。 ・縦割り班の活動では、1年生のお世話係をお願いし、できたことを認める。	

2 通級による指導担当教員

指導目標	指導の手立て	評価
・出来事を順番に、言葉で伝えようとするができる。	・好きな学習漫画の伝記を紙芝居にすることとおして、出来事の順番に話したり書いたりする。 ・完成した紙芝居は、休み時間に在籍学級で発表できる場面を設けてもらう。	

合理的配慮	教育内容・方法	・算数や図画工作の時間で、本児の得意な学習活動のときには、友達から認められる機会を増えるようにする。
	支援体制	・乱暴とみえる行動についても、本児なりの理由があることを、教職員間で共通理解を図り、できていることを認められるような温かい雰囲気をつくる。
	施設・設備	・イライラしたときに、落ち着きを取り戻す場所として、教室の隣の準備室を使えるようにしておく。

記載内容について承諾しました。

平成〇〇年5月10日 保護者氏名 (〇〇 〇〇)